

がれき撤去における感染予防のポイント

-傷の化膿や破傷風について-

■ 感染を予防するには？

被災地域で壊された建物を撤去したり、下水などがあふれていた場所で汚泥の撤去作業を行う場合は、次のことに注意しましょう。

- けが防止のため、素肌を露出しない服装（長袖、長ズボン）で行いましょう。
- 丈夫な手袋、長靴、安全靴などを身につけて、水や土、汚染された廃材などを素手でさわったり、釘などを踏み抜いたりしないよう体を保護しましょう。
- ガラスなどのケガや、棘が刺さったりした場合は、一旦作業を中止し、傷ついた場所を清潔な水でよく洗浄し、傷が汚れた環境に直接さらされないように、絆創膏などで保護しましょう。
- 傷が深い場合や棘などが残ってしまった、傷口が化膿した、破傷風を疑う症状(下記)がみられた場合は、すぐに医療機関を受診しましょう。
- 作業が終了したら、石けんと流水でよく手を洗いましょう。
手洗い用の水が確保できない場合は、ウェットティッシュなどで汚れを落とし、速乾性刷り込み式アルコール性消毒薬を使用してください。

■ 化膿症はどんな感染症なの？

傷の化膿症は、土や皮膚にいるばい菌が傷口で増殖し、痛みや発赤、膿がでたりします。

■ 気をつけることはなんですか？

糖尿病などの方は特に注意が必要です。医療機関で傷口の消毒や処置が必要なことがあります。

■ 破傷風はどんな感染症なの？

破傷風は、土の中にいる破傷風菌が傷口から感染・増殖し、毒素によって、発症します。感染してから症状が起こるまで3日から3週間くらいかかるとされています。

■ 気をつけることはなんですか？

特徴的な症状は、「あごのこわばり」で口が開きにくくなります。

加えて、「ものを飲み込みにくい」、「けいれん」などがみられ、進行すると呼吸困難などをきたすことがありますので、医療機関への受診と治療が必要です。